国立大学法人
東京農工大学
Tokyo University of Agriculture and Technology

地球をまわそう。
MORE SENSE!

テニュアトラック事業

若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進します

東京農工大学キャラクター

全教員の15%※がテニュアトラック教員

※テニュアトラック経験者を含む

松永　是
東京農工大学学長

東京農工大学は、産業の基盤である農学と工学とその融合分野を支える学問領域を中心として、それに関連する教育研究分野を備えた特徴のある大学です。これまでに、優れた人材を数多く育成・輩出し、研究においても高い評価を得てきました。本学が更なる飛躍を遂げるためには、優秀な若手研究者（教員）の獲得及び育成が重要な課題であると考えています。

このため、本学では、新しい人事制度改革の取り組みとして、平成18年度に文部科学省科学技術振興調整費を活用してテニュアトラック制度を全学的に導入しました。先に行われました事業評価では、多数のテニュアトラック教員をきめ細かな施策によって育成し、公平性・透明性の高い審査によってテニュアトラック教員へテニュア付与したことが高い評価を受けております。

また、本学では、平成20年度からテニュアトラック制度の定着を目指して自主財源（大学運営費）によるテニュアトラック教員の採用を開始しており、平成23年度から、文部科学省のテニュアトラック普及・定着事業の採択を受けて、テニュアトラック教員の採用をさらに拡大しているところです。

今後も、テニュアトラック普及・定着事業の支援を頂きながら、若く優秀な研究者を獲得・育成するための人事制度として、引き続きテニュアトラック制度を活用していきます。

村田　章
テニュアトラック推進機構長

東京農工大学では、テニュアトラック教員の採用、育成、テニュア審査等は各研究院で実施することとしています。テニュアトラックの対象職位は、工学研究院は若手の准教授、農学研究院は今後採用する全助教（一部准教授でも可能）とすることが決定しており、テニュアトラック教員全員分のテニュアポストを用意しますので、個別の教員ごとに純粋な業績評価に基づいたテニュア審査を実現しています。また、全学的な組織としてテニュアトラック推進機構を設置し、テニュアトラック教員のライフイベントに伴う任期延長制度の整備や研究院の枠を越えた育成策などを実施しています。また、各研究院が実施するテニュア審査において異議申し立てを受付けるなど、テニュア審査の透明性・公平性の担保に務めています。

採用されたテニュアトラック教員は、5年間の任期の中で、スタートアップ資金の配分、独立した研究スペースの配分、メンター教員の配置、各種育成策の実施、教育機会の提供、ライフイベントの際の支援、管理運営業務の負担軽減などの優遇措置を受けて自立した立場で研究を推進できます。採用後3年目に中間評価を実施し、優れた業績を上げていると判断された場合には、この時点でテニュアを先行付与します。5年目にはテニュア審査を実施し、テニュア付与についての最終判断を行います。テニュアが取得できなかった場合には、セーフティネットとして最長1年の継続雇用制度を用意しており、リクルート支援を行います。

テニュアトラック教員の採用選考、中間評価及びテニュア審査には、外部ピアレビューや外部選考・審査委員など、外部からの視点・評価を活用して選考・審査の透明性・公平性を担保します。さらに、テニュアトラック事業に対する外部評価委員会を組織して、本学の取組を自己評価するとともに、外部の客観的な意見を事業に反映させる仕組みを構築しています。

日本型テニュアトラック制度の先駆け、東京農工大学

日本で先駆けてテニュアトラック制度を導入した東京農工大学。

テニュア付与ポストはすべて確保されているため、

純粋な業績評価に基づいたテニュア審査を実現します。

受け入れ分野に即配置されテニュア付与後もスムーズに溶け込めることや、

外部専門家レビューの制度があることなど、

農工大メニューであなたをお迎えします。

自分自身と戦えるステージがここにあります。

本事業は文部科学省科学技術人材育成費補助金の「テニュアトラック普及・定着事業」の補助を受けて実施しています。

テニュアトラック教員育成策

テニュアトラック教員育成策：全体像

インターディシプリナリー交流会
異分野間の研究交流

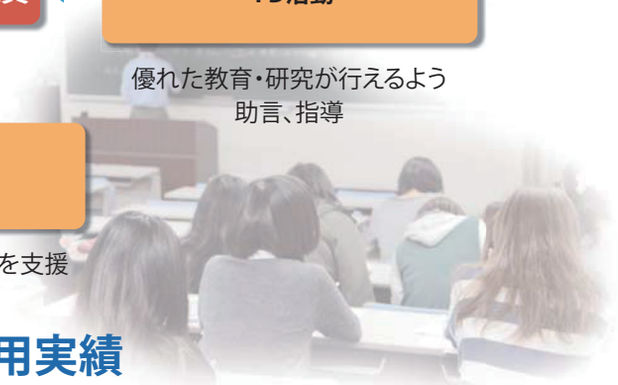
外部専門家レビュー
研究の方向性について議論、助言

海外派遣制度
海外への研究発信、
連携先の開拓を支援

テニュアトラック教員

FD活動
優れた教育・研究が行えるよう
助言、指導

メンター制度
TT教員の研究・教育活動を支援



テニュアトラック期間中のイベント

- 着任
- 外部専門家レビュー
- 外部専門家レビュー
- 中間評価
  - 早期テニュア付与
- 外部専門家レビュー
- 最終評価
- テニュア付与
- 他機関へ（テニュア付与されない場合）

採用実績

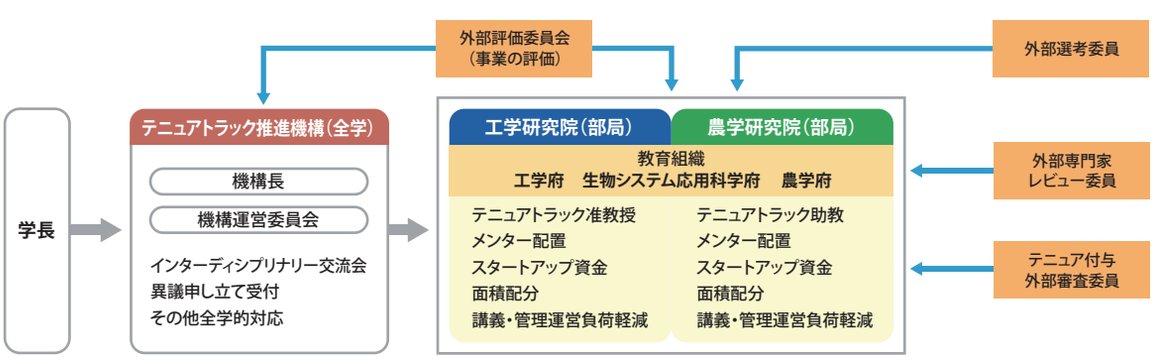
テニュアトラック教員採用実績（累計）　（年度末の数値）

年度	H18	H20	H23	H24	H25
累計TT採用実績(転出除く)	22名	26名	36名	47名	64名
全教員に対する割合	4.9%	5.7%	8.5%	10.9%	14.8%

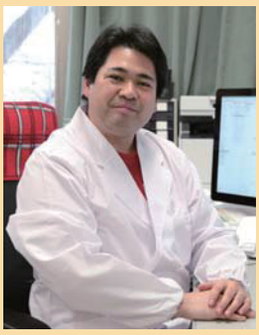
テニュアトラック普及・定着事業採用実績

年度	H23	H24	H25
工学研究院	3	9	5
農学研究院	6	3	6
機構	—	—	6
計	9	12	17
総計	38名		

農工大のテニュアトラック制度運営体制



テニュアトラック教員の声



金田正弘
Masahiro Kaneda
大学院農学研究院・動物生命科学部門

[研究概要]

1996年に世界初の体細胞クローン羊・ドリーが生まれてから、マウス、ウシ、ブタ、イヌ、ネコ、その他様々な動物種でクローンが生まれました。クローン技術は、ドナーとなる動物の「コピー」を作る技術であり、様々な分野での応用が期待されています。しかしながら、その成功率は5-10%以下とまだまだ低く、また様々な発生異常が観察されているために、クローン動物由来の畜産物（牛肉や牛乳など）はいまだ食卓に上っていません。その異常の原因は、これまでの研究からDNA（遺伝子）自身ではなく、「エピジェネティクス」と呼ばれる、DNAの化学的な修飾に異常があるためであると考えられています。そこで私はエピジェネティクスをキーワードに、体細胞クローン牛の異常の原因やその解決方法を探るための研究を行っています。

また、最近ではペットの高齢化に伴い、イヌ・ネコのがんも増えています。がんの異常にもエピジェネティクスが関与していることが最近の研究から明らかになりつつありますので、ペットのがんに関する研究も進めています。

[本学テニュアトラック教員に着任して]

本学のテニュアトラックは独立したPI（研究主宰者）としての研究活動が保証され、講義・実習や各種委員会などの研究以外の業務も一般教員に比べて大幅に軽減されています。また、1-2年目はスタートアップ資金も付与されます。つまり、「自分の思った研究に専念できる」環境を整えることができるわけで、私が前職の独法研究所から異動した一番大きな理由でもあります。

30代でこれだけの研究環境を手に入れることは非常に難しいのが現状ですので、とても有意義な日々を過ごしております。もちろん、テニュア獲得のためのプレッシャーはありますが…。

田中雄一
Yuichi Tanaka
大学院工学研究院・先端情報科学部門

[研究概要]

私は画像・動画像や高次元データを対象とした、多次元マルチメディア信号処理のための理論的・実用的なアプローチの研究を行っています。従来、通常のディジタル信号処理では暗黙のうちに単純な信号の構造を仮定していました。しかしながら、ソーシャルネットワーク、エネルギー、交通、センサ、神経網等の高次元データは非常に複雑な構造を持つため、通常の信号処理手法ではデータの解析が非常に困難です。また、画像・動画像等の映像信号も元来多次元信号であり、輪郭やテクスチャなどの方向性を持った成分を解析するためには、画素同士の構造を考慮に入れた信号処理手法を開発する必要があります。そこで私の研究室では多次元マルチメディア信号処理、特に最近ではグラフ信号処理のための革新的なツールの提案・開発を主な目標として研究を行っています。

[本学テニュアトラック教員に着任して]

若いうちから自らの研究室を運営できる、というのはテニュアトラック制度の大きなメリットだと思います。自分で研究室に関わる全ての責任を負う、というのは大きなプレッシャーでもありますが、同時にやりがいがあり、自らを更に成長させるための大きなチャンスであると思います。また、本学においてはテニュアトラック制度を強く推進していることもあり、学内における他の教職員の方々の理解があることも助けになっています。研究費の面においても、スタートアップ資金によって研究室の立ち上げがスムーズに行えていると感じています。

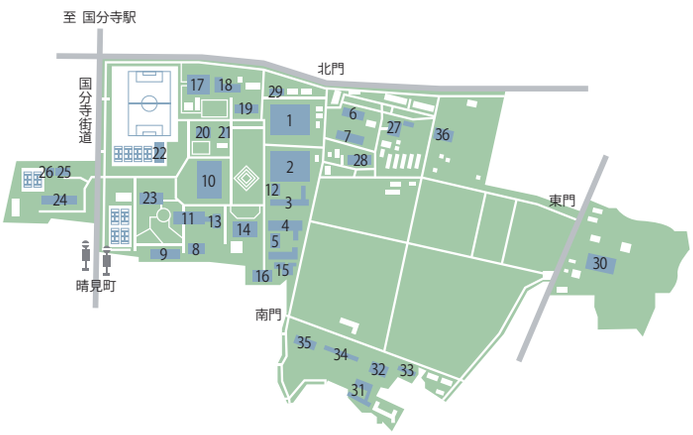
テニュアトラック教員の公募情報

〈東京農工大学 教員採用情報〉http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/index.html
〈JREC-IN〉 http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop

府中キャンパス

東京都府中市幸町3-5-8

JR中央線「国分寺駅」下車、南口2番乗場から「府中駅行バス（明星学苑経由）」約10分「晴見町」バス停下車。
京王線「府中駅」下車、北口バスターミナル2番乗場から「国分寺駅南口行バス（明星学苑経由）」約7分「晴見町」バス停下車。
JR武蔵野線「北府中駅」下車、徒歩約12分。

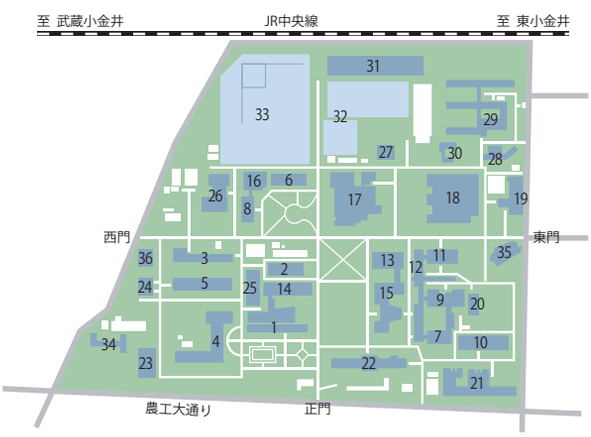


1. 1号館
2. 2号館
3. 3号館
4. 4号館
5. 新4号館
6. 5号館
7. 6号館
8. 7号館
9. 8号館
10. 農学部本館
11. 農学部第1講義棟
12. 農学部第2講義棟
13. 語学演習棟・国際センター府中
14. 府中図書館
15. 動物医療センター（旧附属家畜病院）
16. 農学部附属高蛋白質利用研究施設
17. 府中体育館
18. 総合屋内運動場施設
19. 福利厚生センター・学生活動支援センター
20. 大学院連合農学研究科管理研究棟
21. 共同先進健康科学専攻
22. 運動場附属施設（ゴルフ練習場）
23. 本部（学務部）・大学教育センター
24. 本部管理棟（研究国際部、総務部、財務部）
25. 保健管理センター
26. 50周年記念ホール
27. 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター
28. 遺伝子実験施設
29. 農学部RI実験研究室
30. 乳牛舎
31. 府中国際交流会館
32. 楓寮（女子寮）
33. 職員宿舎
34. 職員宿舎
35. 職員宿舎
36. 先進植物工場研究施設

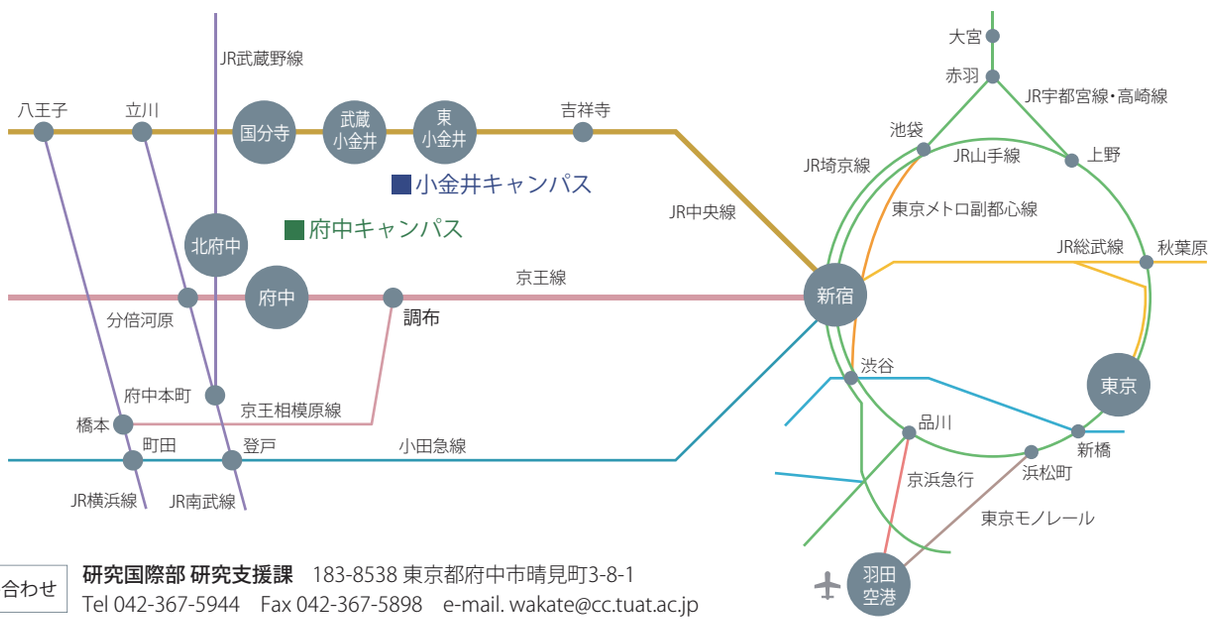
小金井キャンパス

東京都小金井市中町2-24-16

JR中央線「東小金井駅」下車、徒歩約10分。
JR中央線「武蔵小金井駅」下車、徒歩約20分。



1. 1号館
2. 2号館
3. 3号館
4. 4号館
5. 5号館
6. 6号館
7. 7号館
8. 8号館
9. 9号館
10. 10号館
11. 11号館
12. 12号館
13. 13号館
14. 新1号館
15. 工学部講義棟
16. 中央棟
17. 小金井図書館
18. BASE本館
19. 工学部総合会館
20. CAD/CAM実習施設
21. 先端産学連携研究推進センター
22. 科学博物館
23. 先端科学実験棟
24. 環境管理施設
25. ものづくり創造工学センター
26. 体育館
27. 工学部RI実験研究棟
28. 小金井国際交流会館
29. 欅寮（男子寮）
30. 桜寮（女子寮）
31. アーチェリー場
32. テニスコート
33. グラウンド
34. 職員宿舎
35. 140周年記念会館（エリプス）
36. 次世代キャパシタ研究センター



お問い合わせ　**研究国際部 研究支援課**　183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1
Tel 042-367-5944　Fax 042-367-5898　e-mail. wakate@cc.tuat.ac.jp

大学公式Webサイト　http://www.tuat.ac.jp/
テニュアトラック推進機構　http://www.tenure-track-tuat.org/

2014